

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス メロディ♪		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日 ～ 令和8年 1月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日 ～ 令和8年 1月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人ひとりの発達段階、身体状況、医療的ケアの有無、生活リズムやご家族の思いを丁寧に把握した上でマンツーマンに近い形で支援ができています。	利用者一人ひとりの体調や気持ち、その日の様子を大切にしながら関わっています。また表情やしぐさ、小さな変化にも目を向け、無理のないペースで安心して過ごせるように心がけています。	今後も利用者一人ひとりに合った関わりができるよう、支援内容を振り返りながら工夫を重ねていきます。利用者の思いを大切にし、より安心して過ごしていただける環境づくりに取り組んでいきます。
2	職員間において思いやりのある声掛けを意識し、互いの役割や専門性を尊重しています。困りごとや不安を一人で抱え込まないよう、相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、チームとして利用者を支える体制が整っています。	看護師、保育士、児童指導員など多職種が連携し利用者の状態を共通理解しています。職員同士が互いの専門性や役割を尊重し認め合う事で安心して働く事ができる職場作りを目指しています。	今後も職員間の話し合いや情報共有を大切にし、より良い支援につなげていきます。チームとしての連携をさらに深め、利用者にとって安心できる環境づくりを続けていきます。
3	毎月、職員研修を実施しており研修で得た知識等を日々の支援に活かすことで、職員一人ひとりの専門性の向上につながっています。	職員は研修後はレポート提出し、研修内容を日々の支援に活かしています。学んだことを現場で共有しながら、より良い関わりができるよう努力しています。一人ひとりが学び続ける姿勢を大切にしています。	今後も研修の機会を大切にし、職員の知識や支援力の向上に努めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障がいのない子どもとの交流の機会が少ない	本事業所を利用する児童は、医療的ケアや個別の配慮が必要な場合が多く、安全面や体調管理を優先する必要があるため、児童クラブや児童館など、地域の子どもたちとの交流の機会を十分に持つことができていない現状があります。	今後は、無理のない形で法人内の放デイや保育園等との交流を深め、児童の負担が少ない方法から交流の機会を考えていきます。
2	地域に開かれた事業運営が十分にできていないこと	利用者の健康や安全への配慮が必要なため、事業所の行事に地域の方を招くことが難しく、地域との交流が限られています。	今後は、活動の様子をお知らせする掲示等含め地域の方に事業所の取り組みを少しでも知っていただけるよう工夫していきます。
3			